

地域住民を対象としたスポーツイベントの開催
(CASE プロジェクト)



ペースメーカーの学生に合わせて走る児童
＝鹿屋市の鹿屋体育大学

鹿屋市の鹿屋体育大学は13日、陸上競技場を開放し、市民ランナ

市民ランナー60人力走 鹿屋体大「トライアル」初開催

「トライアル」は、鹿屋市の鹿屋体育大学が運営する「鹿屋トライアル」が運営を支援。小学1年生から59歳まで市内外の約60人が参加し、タイムを競った。

参加者は千、三千、五千に分かれ、ペースメーカーに体大陸上競技部員が入った。小学生の千では、学生のペースに引張られ目標タイムを達成する児童が相次いだ。鹿屋小学校6年の中村元泰君は「サッカーをしているけど走るのも好き。もう少し速く走れたかも」と話した。

吾平町の山陵太鼓や、日本インカレなどに出場経験のある学生が会場を盛り上げた。大学構内で家族連れや高齢者が参加するウォーキングイベントも開いた。(成尾由理香)

南日本新聞（2019年10月19日）掲載記事